

令和4年度

学校評価調査

実施報告書



福島県立会津工業高等学校 学校評価委員会

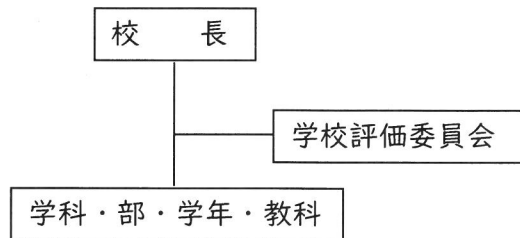
I 自己評価の概要

1 『学校経営・運営ビジョンについて』

「教育目標」と「我等の信条」が本校の『学校経営・運営ビジョン』の根幹となっている。これを実現するために4つの努力目標を設定し、さらに努力目標の実現のための具体的な下位目標を設定している。

前年度の分掌ごとの反省や学校全体として取り組むべき課題をもとに、年度初めに校長により『学校経営・運営ビジョン』が示される。

2 校内組織体制について



各学科・各部・各学年・各教科等の実践を組織横断的に評価するために、校務分掌組織とは別に学校評価委員会が組織されている。

3 自己評価年間計画について

月	学校評価委員会の活動	学校評議員の活動
4月	校長より「学校経営・運営ビジョン」提示	
5月		
6月		第1回学校評議員会
7月		
8月		
9月		
10月	第1回学校評価委員会 調査内容の検討・回収方法など	第2回学校評議員会
11月		
12月	学校評価調査の実施 調査用紙の集計・データ分析	
1月	委員による事前分析 第2回学校評価委員会 学校評価のまとめ 「自己評価実施報告書の作成」 調査結果を反映した学校運営の提言	第3回学校評議員会
2月	結果の公表(HP掲載)	
3月		

II 調査の概要

I 実施時期、実施方法

生徒・保護者・教員（共通）

12月1日 配布 12月13日 メ切 記名・選択方式

- ・回収や集計作業の効率化を図るために、Google Forms を活用し、ウェブ上での調査とした。
- ・今年度も昨年度同様に評価は1回のみ、12月上旬に実施。
- ・調査は生徒、保護者、教員を対象に、それぞれの設問数17、17、16として調査をした。設問の内容については、ビジョンに示される項目を評価する設問を13問、学校全般を評価する内容を生徒、保護者は4問、教員は3問、調査した。
- ・インターネット環境がない生徒、保護者については、用紙を配布、回収し調査を行った。

2 調査の回答数

対象	R4年度の調査			R3年度の調査			R2年度のアンケート		
	対象数	回答数	割合	対象数	回答数	割合	対象数	回答数	割合
生徒	617	617	100%	659	659	100%	701	701	100%
保護者	617	456	73.9%	659	447	67.8%	701	626	89.3%
教職員	63	63	100%	69	69	100%	72	72	100%

- ・生徒、教職員は100%を達成。保護者は、6.1ポイント増の73.9%であった。
- ・[来年度に向けて]保護者からの回答割合が増加している。「学校からの配布物」が保護者に渡っている割合が80.5%である。昨年度に比べ、配布物は適切に渡っている傾向にあるが、一斉メールの適切な活用についての要望もあった。

3 評価基準について

- ・それぞれの項目の達成度を1～4の評価基準で回答を求めた。4段階評定としたのは、中間回答（どちらでもない）の層を、肯定的評価または否定的評価のいずれかに振り分けるためである。
- ・回答4と3の合計を肯定的評価、2と1の合計を否定的評価に分けて、調査結果を評価考察した。

※ 一斉メール登録の有無に関しては、「はい・いいえ」の二択とした。

※ 自由記述を設け、課題の「見える化」をはかった。

4 調査による評価のまとめ

調査結果の分析

努力目標（1）「学習意欲の育成」に関して

《データ》 ※（ ）は今年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|--|---------------|
| 1 本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか | 96.8% (97.0%) |
| 2 授業方法はわかりやすく工夫されていると思いますか | 89.8% (90.6%) |
| 3 科目の評価のしかたについて知っていますか | 78.4% (82.9%) |
| 4 ICT（タブレットやプロジェクター等）が活用された授業が展開され、情報活用能力が向上したと思いますか | 81.7% |

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|---|---------------|
| 1 本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか | 98.2% (96.4%) |
| 2 授業の参観や、お子さまの話から、本校の授業はわかりやすく展開されていると思われませんか | 91.0% (85.7%) |
| 3 お子さまが学習している科目の評価のしかたについてご存じですか | 47.9% (45.9%) |
| 4 本校の授業で ICT が活用され、お子さまの情報活用能力が向上していると思いますか | 72.6% |

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|--|---------------|
| 1 本校ではものづくりをとおした知識、技術・技能が修得できる体験型の学習の充実を図ることができていますか | 100% (94.2%) |
| 2 わかりやすい授業をするために、授業の工夫を行っていますか | 98.4% (97.1%) |
| 3 学ぶ意欲を引き出す評価の工夫・充実を図っていますか | 88.9% (87.0%) |
| 4 情報活用能力を向上させるために、ICT を活用した授業を展開していますか | 68.3% |

《考察》

設問1

ものづくり教育に関する生徒・保護者の肯定的評価が多く、それぞれ約97%・約98%である。生徒は入学時の目標達成に向けてものづくりに一生懸命に取り組んでいると伺える。また、教職員の肯定的評価も100%で、教職員は生徒・保護者の期待に応えるべく、ものづくりの基礎基本を確実に身に付けさせるように創意工夫をして指導をしていると考えられる。

設問2

授業方法に関する生徒および保護者の肯定的評価は90%以上であり、ICTの活用も大きな要因の一つであると思われる。また教職員の肯定的評価も約98%で、多くの教職員がわかりやすい授業展開に向けて教材研究に余念が無いという自負の表れでもあると思われる。

設問3

評価の仕方について生徒の約8割が理解しているようであるが、全員が理解する必要がある。年度初めの授業でシラバスを使いながら丁寧に説明をしなければならない。保護者に関しては、半数以上が評価の仕方についてわからないという結果となっている。保護者に各科目の評価方法を理解しても

らうのが中々難しいところでもある。新入生オリエンテーションで説明させていただいたが、成績は、
考査・実技・レポート・作品・出席状況・学習態度等を総合してつけられていると理解していただき
たい。

設問4

今年度新たに設けられた質問である。今年度1年生からタブレットを購入してもらっており、授業
でのマストアイテムである。2、3年生は生徒がスマートフォンを所持していれば、教職員が許可し
た場合のみ授業でスマートフォンを活用している。多くの教職員がICTを活用した授業展開をして
いるが、肯定的な回答は約7割に留まっている。そのため、教科内での研修を更に充実させるなどし
て、全教職員が授業において、ICTをマストアイテムとして利用できるようにしていきたいと思う。
そして、生徒の情報活用能力がさらに向上するようにしなければならない。

努力目標（２）「職業観の育成」に関して

《データ》 ※（ ）は昨年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | | |
|---|--|---------------|
| 5 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをおして、自分の進路を
考えるようになりましたか | 92.2% (90.0%) |
| 6 | インターンシップ（職場体験）などは、将来の職業を考える上で有益だと思
いますか。 | 96.6% (93.0%) |
| 7 | 講習会や課外指導に参加するなど、資格取得や検定合格のための努力をし
ていますか | 83.5% (83.0%) |

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | | |
|---|---|---------------|
| 5 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをおして、進路意識を啓
発するための指導が行われていると思いますか | 93.9% (90.2%) |
| 6 | インターンシップ（職場体験）などは、お子さまが進路実現を図る上で
有益だと思いますか | 96.3% (96.0%) |
| 7 | お子さまは、資格取得や検定合格のために、講習会や課外指導に参加する
などの努力をしていますか | 75.5% (70.9%) |

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | | |
|---|--|---------------|
| 5 | 企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをおして、進路意識の早
期啓発を促すことができていると思いますか | 92.1% (91.3%) |
| 6 | インターンシップなどをおして、生徒のキャリア教育の充実を図ること
ができていると思いますか | 92.1% (85.5%) |
| 7 | 各種資格検定合格のための支援体制は十分だと思いますか | 87.3% (89.9%) |

《考察》

設問5

企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをおして、自分の進路を考えるようになったことについては、生徒・保護者・教職員の3者ともに肯定的評価が多い。新型コロナウイルスの影響による厳しい縛りが和らいだため、今年度は各科とも、企業見学等を実施した。来年度も、これらの行事を計画し、進路に対する意識を高めていきたい。

設問6

インターンシップの実施に関して、生徒・保護者・教職員の3者ともに肯定的評価が多い。新型コロナウイルスの影響もあったが、昨年度以上に企業に受け入れをしてもらった。しかし、生徒の希望どおりの事業所に行くことができなかったのも事実である。設問5同様、インターンシップは自分の進路を考えるための社会体験で大変重要なことであり、この上ないキャリア教育である。新型コロナウイルスの影響以前のインターンシップに戻ることを期待したい。

設問7

各教科・各工業科は各種資格検定合格のために支援体制を充実させ、放課後に補修・講習等を生徒の資格取得に向けて綿密な計画を立てて実施していた。放課後の補修・講習ため、部活動との両立が難しいこともあり、この点に関して、生徒の約17%、教職員の約13%は肯定的評価ができなかったのではないかとと思われる。保護者の約4分の3は、資格取得や検定合格のために子どもは努力していると回答している。学校だけではなく家庭での合格への取り組みが合否を分けることもあるので、保護者の皆様には励ましなどを含め協力をお願いしたい。

努力目標(3)「社会性の育成」に関して

《データ》 ※ () は去年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

8 自律した生活を送り、校則や社会のマナー・ルールを守っていますか	95.1% (95.9%)
9 環境美化や省エネを心がけていますか	87.0% (85.0%)
10 部活動に積極的に参加していますか	77.5% (81.5%)

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

8 お子さまは、基本的な生活習慣が確立され、校則や社会のマナー・ルールを守っていると思いますか	89.2% (90.4%)
9 お子さまは環境美化や省エネに心がけていますか	57.3% (57.5%)
10 お子さまは部活動に積極的に参加していますか	69.6% (72.3%)

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

8 HR、服装頭髪指導、登校指導、部活動をとおして、社会性・規範意識や基本的な生活習慣を身につけさせる指導に力を入れていますか	65.1% (81.2%)
9 校内美化、省エネの推進、実習での服装指導などをとおして、環境と安全に対する意識を高める指導に力を入れていますか	76.2% (85.5%)
10 生徒が部活動を通して社会性を身につけ、自己実現を図ることができるように配慮していますか	73.0% (84.1%)

《考察》

設問8

校則や社会のマナー・ルールを守るということに関して、生徒および保護者は肯定的評価が多い。それに比べると教職員の肯定的評価は約65%と両者に比べると生徒より約30%、保護者より約25%低い。これは、教職員の指導が一部の生徒に行き届かないことがあるためだと思う。根気強く指導していき社会に通用する人材を育成していきたいと思う。

設問9

生徒と教職員の約75%が環境美化や省エネに関して肯定的評価をしている。しかし、環境美化や省エネに対する生徒の意識の差は少なからずある。また、生徒の私物の整理整頓状況等をみても個人差はある。教職員は生徒の「社会性の育成」を目標としていることから、小さなことでもすぐにアドバイスをし、小さなことからコツコツと環境美化や省エネに対する意識を植え付けていかなければならない。保護者の約40%は肯定的でない評価をしている。環境美化や省エネに関して、子どもとコミュニケーションを積極的にとるなどして家庭でも意識を高めてもらいたい。

設問10

昨年度に比べると三者の肯定的評価が下がっている。これは、新型コロナウイルスの影響で練習に関してストレスを抱えながらの部活動になっているためではないかと思われる。より上の目標を設定して、また、生徒・保護者・教職員が連携して活動をさらに活発にしていきたい。

努力目標（４）「地域との連携推進」に関して

《データ》 ※（ ）は今年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 11 学校からの配布物をきちんと家族に渡していますか | 80.6% (79.7%) |
| 12 地元企業との連携をいかした取り組みなどは、役に立つと思いますか | 95.1% (94.4%) |
| 13 本校の教育活動は、地域の方々に広く知られていると思いますか | 77.3% (82.2%) |

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|---|---------------|
| 11 学校からの配布物、ホームページ、一斉メール、PTAの各種会合などによって、知りたい情報を得ることができていますか | 80.3% (78.5%) |
| 12 本校が地元企業との連携をいかした取り組みなどを行っていることを知っていますか。 | 55.4% (85.2%) |
| 13 本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域の方々に広く知られていると思いますか | 67.6% (71.8%) |

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

- | | |
|--|---------------|
| 11 学校からの情報はHPや配布物、各種会合などをおして有効に発信されていると思いますか | 77.8% (87.0%) |
| 12 「地域産業連携事業」など外部事業に関わる校内の協力体制は整っていると思いますか | 82.5% (85.5%) |
| 13 本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域・保護者に適切に発信されていると思いますか | 69.8% (79.7%) |

《考察》

設問 1 1

生徒・保護者共に配布物に関しては、若干ではあるが肯定的評価が昨年度に比べ上昇しており、約80%の家庭で配布物の受け渡しができていると推測できる。しかし、教職員の肯定的評価が昨年度に比べ約10%下がっている。これは、職員は生徒・保護者の配布物の受け渡しできていない約2割の家庭に対する対策をとる必要があると思っているためではないかと考える。ひとつの手立てとして、一斉メールの更なる有効活用等を考えていきたい。なお、学校情報は、各工業科に行事等があるごとにホームページに掲載するようにお願いして発信するなど、ホームページを比較的有効的に活用している。

設問 1 2

地元企業との連携を活かした取り組みについて、生徒の肯定的評価は約95%と多い。これは、新型コロナウイルス禍で、各工業科の取り組みに差はあったが、企業見学や地域の方を招いての講習会等を昨年度以上に実施するなど、生徒は有意義な体験的な学習ができたためだと思う。保護者の約30%は肯定的評価が昨年度に比べ下がっている。これは保護者への情報発信に不備があったためだと思う。

設問 1 3

生徒・保護者・教職員すべてにおいて、肯定的評価が昨年度に比べ少ない。これは、今年度は、ふくしま教育週間を実施するなど徐々に以前の行事を実施してきたが、新型コロナウイルスの影響により行事内容に制限を設けなければならなかったこと、また、開催の可否を含めて判断が後手に回ってしまい適切に情報発信できなかったことが原因であると考えられる。

(5) 「学校全般について」に関して

《データ》 ※ () は去年のパーセンテージ

○生徒調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

14 本校では教育相談部やスクールカウンセラーが生徒や保護者の相談活動を行っていることを知っていますか	76.8% (86.2%)
15 学校行事に積極的に参加していますか	94.5% (93.9%)
16 一斉メールに登録していますか	79.4% (83.6%)
17 本校に入学して良かったと思いますか	91.1% (92.6%)

○保護者調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

14 本校の教育相談部やスクールカウンセラーを生徒や保護者が利用できることを知っていますか	60.4% (53.9%)
15 保護者としてPTA活動などの学校の行事に参加されていますか	29.1% (32.4%)
16 一斉メールに登録していますか	98.5% (98.9%)
17 お子さまを本校に入学させて良かったと思いますか	99.1% (98.0%)

○教員調査の各設問と肯定的評価の割合は以下の通りである。

14 全教職員の共通理解のもとで生徒指導には取り組んでいると思いますか	47.6% (55.1%)
15 日頃、生徒と向き合う時間は十分確保できていると思いますか	65.1% (58.0%)
16 校務分掌はバランスよく仕事が割り振られていると思いますか	36.5% (47.8%)

《考察》

学校全般については、生徒・保護者と教職員の設問項目に関連性はない。

教育相談・スクールカウンセラーの相談活動について、入学時に担当者から生徒・保護者に向けて話をしていることを考えると約4分の1の生徒が知らないのは残念である。周知徹底することも含め、年度当初に新入生全員に対するスクールカウンセラーによる面談を実施するなどの方策を考えていきたいと思う。

保護者のPTA活動については、新型コロナウイルスの影響もあり、役員以外の会員の方が参加する行事がほとんどなかったこと、また、行事があったとしても事情により参加できなかったことなどから肯定的評価が少なかったのではないかと思う。

一斉メールの保護者の登録は約99%と学校からの情報提供に期待を寄せていることが伺える。これからも有効活用をしていきたいと思う。

保護者の約99%、生徒の約90%が本校に入学させて良かったと回答しており、生徒・保護者の期待に応えるよう私たち教職員は肝に銘じて学習指導等をしていかなければならないと強く思った。

教職員への設問14・15・16の3つについては、残念ながら肯定的評価の回答が少ない。特に設問16の校務分掌はバランスよく仕事が割り振られていることに関しては、約3分の1の教職員が否定的評価である。1学級減により教職員数も3年間で12名減となるその過程で、これまでと同じように仕事を進めていくことは難しいところもある。大変忙しい校務分掌もあるかと思うが、各主任を中心に創意工夫をしながら仕事を進めていく必要がある。

Ⅲ 広報の概要

来年度の取り組みへの資料とするために、調査結果については、生徒・保護者・教職員には文書で配布するとともに、地域の方々にも調査結果を周知するためにホームページに掲載する。また、ホームページ掲載については、保護者には文書や一斉メールを利用して、このことを周知する。

Ⅳ 次年度へ向けて

1 評価結果の特徴、自己評価実践の成果等

今年度も昨年度に続きオンラインを使って学校評価アンケートを実施した。保護者の回答率が昨年度の約半数から4分の3に増加した。三者の学校評価アンケートの結果を見ると全体的に評価が高く、各質問項目に対する結果も一部を除き大きな差異はなかった。教職員の指導等が生徒に浸透し、保護者はそのことに理解していると考えられる。教職員はこれに満足することなく、さらなる上の目標をもち社会に貢献できる人間育成を目指して、これまで以上に教科、生活指導等をしていかなければならない。

2 自己評価全体の次年度の取組みについて

(ビジョン、組織、年間計画での反省点に基づいて)

教職員は、学校経営・運営ビジョン達成のために教科指導、生活指導等を状況に応じて行っている。また、学年、部、教科、工学科内部の連携は十分にとれており、さらに、これらの横断的学びがもっと強固になれば、もっと先を見通した充実した指導ができるはずである。横断的学びが評価を高くするポイントの一つであると思われる。

本校の学校評価の分析は教頭中心で行い、これをもとに学校評価委員会で検証を行っている。評価の分析等には教頭以外の教員にも関わってもらい違った目も必要である。このため、学校評価委員会の持ち方等を検討し、適切かつ有効的に評価をしていけるようにしていきたい。

3 次年度へ向けての課題、改善点、重点努力事項、展望など

本校がある会津地区は過疎化が進む自治体も多く、地域の未来を担う人材育成を地域や地元企業の多くから期待されている。1学級減となり、次年度、建築インテリア科、セラミック化学科、機械科2クラス、電気情報科の計5クラスの完成年度を迎える。これを新たな出発点とし、地域とさらに連携し、また地域にある知的財産等を大いに活用して、地域の新たな産業を担う専門的知識を持った人材を多く輩出していきたい。実現に向けて、各工業科の授業においてはものづくりを通して魅力ある授業を展開し、普通教科では基礎学力の向上を図りたい。

次年度も保護者に信頼され、地域の期待に応えられるよう関係機関との連携を密にし、開かれた信頼される学校づくりをし、地域に貢献していきたい。

4 終わりに

地域に期待されていることを十分に意識し、校長のリーダーシップのもと生徒の自己実現と社会に貢献する人材の育成を目指す。教員が一丸となって校務に取り組むために、各方面からの意見を取り入れ、今年度の調査で見えた課題を解決しながら学校運営をしていく。そして、生徒、保護者から良い評価が得られるように、また、教職員自身が良い評価ができるように努力していく。

学校評価調査集計結果(生徒)

:特にそう思う
 :そう思う
 :あまり思わない
 :まったく思わない

No	設 問	肯定的 評価%	割 合										肯定的評価%		否定的評価%	
			10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%				
1	本校では、ものづくりをとおして、知識、技術・技能を修得できると思いますか	96.8%											46.0%	50.7%	2.1%	1.1%
2	授業方法はわかりやすく工夫されていると思いますか	89.8%											27.6%	62.2%	8.1%	2.1%
3	科目の評価のしかたについて知っていますか	78.4%											24.8%	53.6%	19.3%	2.3%
4	ICT (タブレットやプロジェクター等) が活用された授業が展開され、情報活用能力が向上したと思いますか	81.7%											26.6%	55.1%	13.8%	4.5%
5	企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などをとおして、自分の進路を考えたようになりましたか	92.2%											36.8%	55.4%	6.8%	1.0%
6	インターンシップ (職場体験) などは、将来の職業を考える上で有益だと思いますか	96.6%											52.8%	43.8%	2.9%	0.5%
7	講習会や課外指導に参加するなど、資格取得や検定合格のための努力をしていますか	83.5%											30.8%	52.7%	13.5%	3.1%
8	自律した生活を送り、校則や社会のマナー・ルールを守っていますか	95.1%											48.3%	46.8%	4.1%	0.8%
9	環境美化や省エネを心がけていますか	87.0%											27.7%	59.3%	11.0%	1.9%
10	部活動に積極的に参加していますか	77.5%											47.2%	30.3%	11.2%	11.3%
11	学校からの配布物をきちんと家族に渡していますか	80.6%											35.2%	45.4%	16.4%	3.1%
12	地元企業との連携をいかした取り組みなどは、役に立つと思いますか	95.1%											35.7%	59.5%	4.2%	0.6%
13	本校の教育活動は、地域の方々に広く知られていると思いますか	77.3%											24.5%	52.8%	19.4%	3.2%
14	本校では教育相談部やスクールカウンセラーが生徒や保護者の相談活動を行っていることを知っていますか	76.8%											27.2%	49.6%	18.0%	5.2%
15	学校行事に積極的に参加していますか	94.5%											48.0%	46.5%	4.9%	0.6%
16	一斉メールに登録していますか	79.4%											79.4%		20.6%	
17	本校に入学して良かったと思いますか	91.1%											37.0%	54.1%	6.2%	2.8%

学校評価調査集計結果(保護者)

:特にそう思う
 :そう思う
 :あまり思わない
 :まったく思わない

No	設 問	肯定的評価(%)	割 合										肯定的評価%		否定的評価%	
			10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%				
1	本校では、ものづくりをとおして、知識・技術・技能を修得できると思いますか	98.2%											32.6%	65.6%	1.8%	0.0%
2	授業の参観や、お子さまの話から、本校の授業はわかりやすく展開されていると思われますか	91.0%											8.3%	82.7%	8.8%	0.2%
3	お子さまが学習している科目の評価のしかたについてご存じですか	47.9%											4.2%	43.8%	47.0%	5.0%
4	本校の授業でICTが活用され、お子さまの情報活用能力が向上していると思いますか	72.6%											6.3%	66.3%	26.3%	1.1%
5	企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などとおして、進路意識を啓発するための指導が行われていると思いますか	93.9%											24.5%	69.4%	5.5%	0.7%
6	インターンシップ(職場体験)などは、お子さまが進路実現を図る上で有益だと思いますか	96.3%											46.6%	49.7%	3.3%	0.4%
7	お子さまは、資格取得や検定合格のために、講習会や課外指導に参加するなどの努力をしていますか	75.5%											25.6%	49.9%	21.4%	3.1%
8	お子さまは、基本的な生活習慣が確立され、校則や社会のマナー・ルールを守っていると思いますか	89.3%											22.5%	66.7%	10.5%	0.2%
9	お子さまは環境美化や省エネに心がけていますか	57.3%											6.6%	50.8%	41.1%	1.5%
10	お子さまは部活動に積極的に参加していますか	69.6%											40.0%	29.5%	19.7%	10.7%
11	学校からの配布物、ホームページ、一斉メール、PTAの各種会合などによって、知りたい情報を得ることができていますか	80.3%											10.1%	70.2%	18.8%	0.9%
12	本校が地元企業との連携をいかした取り組みなどを行っていると思いますか	55.4%											10.7%	44.6%	40.7%	3.9%
13	本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域の方々広く知られていると思いますか	67.6%											6.1%	61.5%	31.5%	0.9%
14	本校の教育相談部やスクールカウンセラーを生徒や保護者が利用できることをしていますか	60.4%											7.2%	53.2%	34.8%	4.8%
15	保護者としてPTA活動などの学校の行事には参加されていますか	29.1%											5.3%	23.9%	58.0%	12.9%
16	一斉メールに登録していますか	98.5%											98.5%		1.5%	
17	お子さまを本校に入学させてよかったと思いますか	99.1%											45.1%	54.0%	0.9%	0.0%

学校評価調査集計結果(教職員)

:特にそう思う
 :そう思う
 :あまり思わない
 :まったく思わない

No	設 問	肯定的評価(%)	割 合										肯定的評価%		否定的評価%	
			1%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	肯定的評価%	否定的評価%	肯定的評価%
1	本校はものづくりをとおした知識、技術・技能が修得できる体験型の学習の充実を図ることができていますか	100.0%											27.0%	73.0%	0.0%	0.0%
2	わかりやすい授業をするために、授業の工夫を行っていますか	98.4%											17.5%	81.0%	1.6%	0.0%
3	学ぶ意欲を引き出す評価の工夫・充実を図っていますか	88.9%											14.3%	74.6%	11.1%	0.0%
4	情報活用能力を向上させるために、ICTを活用した授業を展開していますか。	68.3%											15.9%	52.4%	30.2%	1.6%
5	企業見学・各種講習会・講演会・進学課外などとおして、進路意識の早期啓発を促すことができていると思いますか	92.1%											22.2%	69.8%	7.9%	0.0%
6	インターシップなどとおして、生徒のキャリア教育の充実を図ることができていると思いますか	92.1%											19.0%	73.0%	7.9%	0.0%
7	各種資格検定合格のための支援体制は十分だと思いますか	87.3%											17.5%	69.8%	12.7%	0.0%
8	HR、服装頭髪指導、登校指導、部活動などとおして、社会性・規範意識や基本的な生活習慣を身につけさせる指導に力を入れていますか	65.1%											12.7%	52.4%	34.9%	0.0%
9	校内美化、省エネの推進、実習での服装指導などとおして、環境と安全に対する意識を高める指導に力を入れていますか	76.2%											14.3%	61.9%	23.8%	0.0%
10	生徒が部活動を通して社会性を身につけ、自己実現を図ることができるように配慮していますか	73.0%											11.1%	61.9%	27.0%	0.0%
11	学校からの情報はHPや配布物、各種会合などとおして有効に発信されていると思いますか	77.8%											7.9%	69.8%	22.2%	0.0%
12	「地域産業連携事業」など外部事業に関わる校内の協力体制は整っていると思いますか	82.5%											12.7%	69.8%	17.5%	0.0%
13	本校の教育活動・学校運営の状況は、授業参観や研究発表、学校評価などによって、地域・保護者に適切に発信されていると思いますか	69.8%											7.9%	61.9%	30.2%	0.0%
14	全教職員の共通理解のもとで生徒指導には取り組んでいると思いますか	47.6%											6.3%	41.3%	44.4%	7.9%
15	日頃、生徒と向き合う時間は十分確保できていると思いますか	65.1%											7.9%	57.1%	33.3%	1.6%
16	校務分掌はバランスよく仕事が割り振られていると思いますか	36.5%											0.0%	36.5%	55.6%	7.9%